

# 127 七宗大径材生産展示林 (七宗1207・1211)

試験期間 H6～ 最終調査年度 令和5年 2023年

## 1 設定の目的と取扱い

七宗国有林は木曾山とともに尾張藩の所領として管理されていたが、明治4年の廃藩置県により農商務省所管の官有林になり、その後、明治22年に宮内省帝室林野局所管の御料林となり、本格的な天然林の伐採と造林が開始されました。

当展示林は、初代の人工造林地として七宗国有林に現存する歴史的価値の高い高齢林分（大径材）として保存され、長伐期施業の参考として継続的（5年毎）に調査を行っています。

## 2 場所等

加茂郡七宗町大字七宗山 七宗国有林1207ち林小班  
〃 1211は林小班

## 3 面積

1207ち林小班 3.02ha（林地2.85ha・林道敷0.17ha）

1211は林小班 0.43ha（林地0.38ha・林道敷0.05ha）

## 4 施業等の概要

令和5年3月現在

年	林齢	作業	1207ち	1211は
M26、31年	1	植栽	明治26（1893）年 3,240本/ha植栽 ヒノキ74%、スギ26%	明治31（1898）年 スギ4,300本/ha植栽
M26～37年	1～12	下刈	明治26～31年下刈実施	明治31～37年下刈実施
M42 ～T11年	17～31	除伐	大正6、9年除伐実施	明治42、大正3、11年除伐実施
M45 ～S17年	20～51	枝打	明治45、大正5、13年、 昭和17年枝打実施	明治45、大正5年枝打実施
S58年	92	間伐	間伐	—
H20年	117	間伐	間伐	間伐

## 5 調査計画等

林分の推移について観察を行い、必要に応じて成長調査等を実施する。

また、歩道等の維持管理を継続する。

## 6 地況

標高	450m～520m
平均林地傾斜	26度
方位	東
土壌型	BD(d)

## 7 林況

沢筋にはスギ、尾根筋にヒノキが植栽してあり、生育は良好である。

林床にはかん木類が広く生育しているが、平成10年台の台風7号により一部風倒木が発生し、表土の露出が見られる。

※H20年調査（スギ毎木調査法/ヒノキ標準地調査法）

	樹種	面積 (ha)	本数 (本)	材積 (m <sup>3</sup> )	平均胸高直径 (cm)	平均樹高 (m)	ha本数	ha材積
1207ち	スギ	0.81	191	570	49	34	236	704
	ヒノキ	2.04	895	1,327	38	28	439	650
	計	2.85	1,086	1,897	40	29	381	666
1211は	スギ	0.38	127	507	58	34	334	1,334
	計	0.38	127	507	58	34	334	1,334
計	スギ	1.19	318	1,077	53	34	267	905
	ヒノキ	2.04	895	1,327	38	26	439	650
	合計	3.23	1213	2404	42	28	376	744

※H25年調査（スギ毎木調査法/ヒノキ標準地調査法）

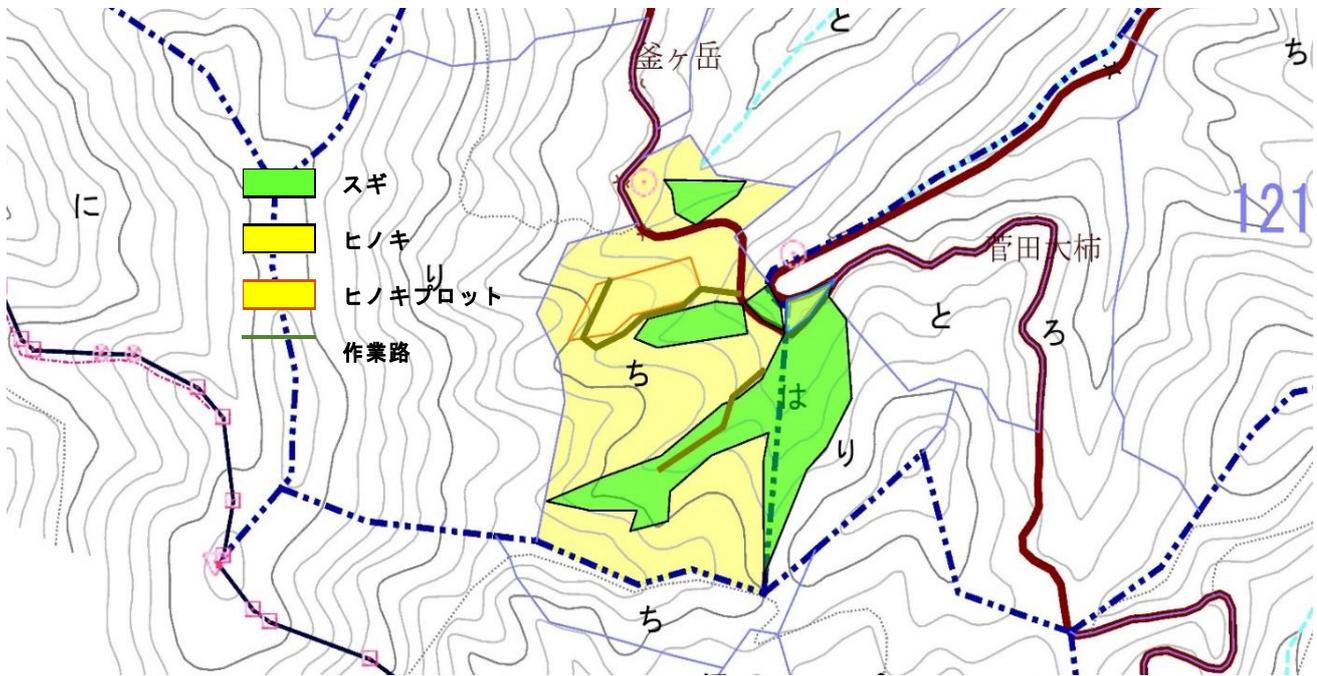
林小班	樹種	面積 (ha)	本数 (本)	材積 (m <sup>3</sup> )	平均胸高直径 (cm)	平均樹高 (m)	ha本数	ha材積
1207ち	スギ	0.81	190	619	51	35	235	764
	ヒノキ	2.04	895	1,477	40	29	439	724
	計	2.85	1,085	2,096	42	30	381	735
1211は	スギ	0.38	127	552	60	35	334	1,453
	計	0.38	127	552	60	35	334	1,453
計	スギ	1.19	317	1,171	55	35	266	984
	ヒノキ	2.04	895	1,477	40	29	439	724
	合計	3.23	1212	2648	44	30	375	820

※H30年調査（スギ毎木調査法/ヒノキ標準地調査法）

林小班	樹種	面積 (ha)	本数 (本)	材積 (m <sup>3</sup> )	平均胸高直径 (cm)	平均樹高 (m)	ha本数	ha材積
1207ち	スギ	0.81	189	656	53	34	233	810
	ヒノキ	2.04	884	1,589	41	29	433	779
	計	2.85	1,073	2,245	43	30	376	788
1211は	スギ	0.38	127	597	63	35	334	1,571
	計	0.38	127	597	63	35	334	1,571
計	スギ	1.19	316	1,253	57	35	266	1,053
	ヒノキ	2.04	884	1,589	41	29	433	779
	合計	3.23	1200	2842	45	30	372	880

※R5年調査（スギ毎木調査法/ヒノキ標準地調査法）

林小班	樹種	面積 (ha)	本数 (本)	材積 (m <sup>3</sup> )	平均胸高直径 (cm)	平均樹高 (m)	ha本数	ha材積
1207ち	スギ	0.81	189	712	55	35	233	879
	ヒノキ	2.04	884	1,766	43	30	433	866
	計	2.85	1,073	2,478	45	31	376	869
1211は	スギ	0.38	126	656	65	36	332	1,726
	計	0.38	126	656	65	36	332	1,726
計	スギ	1.19	315	1,368	59	36	265	1,150
	ヒノキ	2.04	884	1,766	43	30	433	866
	合計	3.23	1199	3134	47	31	371	970



令和5年度



令和 5 年度



令和 5 年度

## 七宗大径材展示林

**概要**  
七宗展示林は、明治22年以降、家々と植栽が始められました。近代の造林事業で残存する唯一の人工林として保存されています。森林管理の歴史を語る展示林です。

**所在地**  
岐阜県加茂郡七宗町 七宗園自林 1207杉林小区 1211杉林小区

**沿革等の概要**

◆1207杉林小区 3.02ha (杉樹2,859本・雑樹0.17ha)	
期	内容
開墾時期	明治22年 七ノ木 3,200本/ha
開墾時期～3年	下 刈 5回
大径材年 大正3年	株 本 2,800
樹高50m 大正15年 昭和7年	株 本 1,100
樹高50m 昭和20年	株 本 1,300

◆1211杉林小区 0.42ha (杉樹0.38ha・雑樹0.05ha)	
期	内容
開墾時期	明治 月 大正 4,100本/ha
開墾時期～3年	下 刈 2回
大径材年 大正11年 大正11年	株 本 200
大径材年 大正15年	株 本 200
大径材年 昭和20年	株 本 200

**林況**  
※平成30年度調査による(25年毎大径材調査 七ノ木標準林内調査)

林小区	種別	林地面積 (ha)	株数	総高 (m)	平均樹高 (m)
1007杉	大径材	0.01	169	65	34
	七ノ木	2.04	884	1,589	41
1211杉	大径材	0.36	187	597	63
	七ノ木	0.06	127	597	63
計	大径材	0.37	356	627	63
	七ノ木	2.04	884	1,589	41
計		2.41	1,240	2,842	53

**地況**  
標高 450～520m  
林相類型 準常緑林  
土壌類型 濃赤褐色森林土(腐植質型)

林 野 庁 中 部 森 林 管 理 局